

会 議 録 （議事要旨）

会 議 名	平成24年度 第1回三豊市事務事業外部評価委員会
開 催 日 時	平成24年6月18日（月）午後1時30分から午後4時3分
開 催 場 所	三豊市役所 4階委員会室
出 席 委 員	赤井勝哉、牛島授公、酒井 郁、宮武佐代子、宮本英一郎、森 登 （6名）
欠 席 委 員	森 昭博
事 務 局	市長 横山忠始、企画財政課長 森 諭、企画 GL 福岡、同 G 三好、財政 GL 貞廣、同 G 齊藤、富田、池脇、湯口
傍 聴 者	非公開
議 題	(1) 平成24年度における事務事業外部評価対象事業の選定について (2) 日程の調整について (3) その他
議事の経過及び発言の要旨	
1.開会	午後1時30分
森課長	<p>本日の進行は、私、企画財政課の森が進行させていただきますので よろしく願いいたします。</p> <p>皆様方におかれましては、委員就任につきましてご承諾いただきまし て、まずもってお礼を申し上げます。ありがとうございます。委員の皆様は、 外部評価委員会設置条例第3条の規定により、7名の委員を選任 させていただきました。本日、ご都合で森 昭博委員が欠席されてお ります。委員の任期につきましては、委嘱された年度の末日までとなっ ており、再任を妨げないということで、委嘱期間につきましては本日6月 18日より、年度末の平成25年の3月31日までとなっておりますの でよろしく願いいたします。</p>
2.委嘱状交付	
森課長	<p>横山市長より委嘱状の交付をさせていただきます。お名前を呼ばれた 方はお手数ですが前の方をお願いいたします。</p> <p>（横山市長より6名に委嘱状の交付）</p>
3.市長あいさつ	
森課長	それでは開会にあたりまして、横山市長よりご挨拶を申し上げます。

横山市長	<p>それでは皆様方、本日は三豊市事務事業外部評価委員就任についてご快諾を賜りまして心から厚くお礼を申し上げます。また皆様方公私共にご多用中の方々ばかりでございまして、貴重な時間をお裂きいただきまして、私たち三豊市の事務事業に関しご意見を頂けるということになりましたこと、あらためて厚くお礼を申し上げたいと思います。三豊市も平成18年に7つの町が合併をしてできた新しい市であります。6年経ちまして、かなり市民文化も一体化しつつあるなという状態でございます。もちろんこれは30年ぐらい掛かるのではないかと当初から考えておりましたが、思っていたより早く「三豊市として皆で頑張っていこう」という気運が出てきていると感じております。</p> <p>そういった中で、合併当初は中長期で持続可能な財政状況を是非作り上げていこうじゃないかということで、集中して行財政改革を進めて参りました。現在、合併特例が効いているということもありまして、現状、国が示す財政状況の基準は、香川県8市の中では一番いいところに来たんでないかなと思っております。ただこれからは交付税の一本算定もあり、4年後、5年後からだんだんに減額されてきてまして、三豊市のような7つの町が合併した市というのは、一本算定となるとかなり厳しいダメージがあり、最終的には35億円ぐらい減少するのではないかという予想も出ております。私たちとしては、そういう最も厳しい部分に視点を合わせた町づくりを今後の10年はやっていかなければならないと思っております。今は5年間の行財政改革で、一定の成果が出ましたけれども、決して納得することなく、一本算定の時にも優良な財政、持続可能な財政が運営ができるようにやっていきたいと思っております。</p> <p>そういう意味においては、住民に向けての行政サービスのあり方も、そして公共施設のあり方も、住民の皆様とともに次世代に負担の残さないやり方を考えて行かないといけないというのは、我々の任務だと強く思っております。このような形で市の事務事業に関して皆様方の外部評価をいただけるということは本当にありがたいことでありまして、これは我々から住民の皆様方にお示しできる基準にもなりますし、議会に対しても、皆様方からのご意見はこうだということをきちんと提示できます。最終的には、私どもと議会が最終判断をさせていただくことになると思いますが、皆様方におかれましては是非とも三豊市の将来も勘案していただきまして、厳しいご叱声とご指摘を遠慮なくいただけたらと思います。市民の皆様方の貴重な血税を使いながら行政サービスを展開しているということも、我々も強く認識をしていきたいと思っておりますので、この委員会において皆様方が感じられること、思われることをご発言で</p>
------	---

	<p>きるような活発な評価委員会になりますことを心よりお願いを申し上げる次第でございます。</p> <p>改めまして皆様方にはそれぞれがお仕事をお持ちの中、貴重な時間をお割きいただきまして、この三豊市のためにご貢献いただきますことを感謝申し上げます、冒頭お礼の挨拶にかえさせていただきます。それでは皆様どうぞよろしくお願いを申し上げます</p>
4.委員自己紹介	
森課長	<p>それでは、皆様方初めての方ばかりですので、自己紹介ということで、赤井委員の方から時計回りで自己紹介をお願いできたらと思います。</p> <p>会議資料の19ページ、20ページに委員名簿、事務局の名簿がありますので、ご参考にしていただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>(各委員及び出席職員が自己紹介)</p>
5.委員長選任	
森課長	<p>まず本日の会議は外部評価委員会設置条例第5条2項の規定によりまして出席定数を満たしておりますことを、ここでご報告させていただきます。続きまして委員長の選任ですが、設置条例第4条の規定によりまして、委員長は委員の互選、副委員長は委員長の指名となっておりますが、いかがいたしましょうか。</p>
森登委員	<p>今日はじめて顔を合わせたのでなかなか難しいと思うので、執行部の案があるかと思うので、それをお示しいただきたいと思います。</p>
森課長	<p>ありがとうございます。森委員さんのほうから執行部の案ということでご意見がありましたので、事務局案ということで、委員長は香川大学院の牛島教授にお願いしたいと思います。牛島教授は地域マネジメント研究科において自治体財政政策、また地域公共政策などで専門的に地域の発展のための人材育成に取り組んでいらっしゃいます。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>(各委員より拍手)</p> <p>それでは牛島教授よろしくお願ひいたします。副委員長につきましては委員長が指名することになっておりますので、あわせてお願ひいたします。</p>
牛島委員長	<p>副委員長の指名ということですが、お話がありましたように初対面ということですので、私のほうから指名ということも難しいので、できれば事務局のほうでご指名をお願いします。</p>
森課長	<p>はい。それでは事務局案ということで、副委員長には、できるだけ地域の方でお願いしたいということもありまして、行政経験者であり旧三</p>

	<p>野町の助役もされておりました森登委員にお願いできればと思います が、いかがでしょうか。</p> <p>(各委員より拍手)</p> <p>ありがとうございます。それでは今から席のほうをご用意いたします ので、委員長、副委員長席のほうに移動をお願いいたします。</p>
6.委員長あいさつ	
森課長	それでは改めまして牛島委員長からご挨拶をお願いいたします。
牛島委員長	委員長ということで、よろしくをお願いいたします。先ほど市長のほう から話がありましたように、行財政改革として大変重要なこの作業で ございますし、これからの三豊市の発展に繋がる施策のベースにもなるも のと思っておりますので、是非とも皆様のご協力をよろしくお願いいた します。
森課長	ありがとうございました。それでは外部評価委員会設置条例第5条1 項の規定によりまして、委員長が会議の議長となることとなっております ので、牛島委員長の方で進行をお願いいたします。
7. 議題	
牛島委員長	はい。それではまず議題1の平成24年度における事務事業外部評価 対象事業の選定についてですが、事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料 1-1、資料 1-2、資料 1-3>について説明>
牛島委員長	今事務局から説明がありましたが、本日の会議で資料 1-3の中から対 象事業として、委員の希望調査をさせていただいたうえで、希望の多い 40事業程度を本年度の評価対象事業にしたいと考えております。この 40事業の選び方についてももう少し説明をお願いします。
事務局	皆様のお手元に希望調査というものを配布させていただいていると思 いますが、その事業欄の横に希望ということで空白があると思います。 事業の説明を聞いた上で、この事業の評価をしたい、興味があるという 事業がありましたら、その欄に○をしていただきたいと思います。そし て今日お帰りの際に、事務局のほうで回収させていただき、皆様の意見 を集計させていただきます。結果につきましては、日程調整いただいた 日程とともに皆様のほうに、評価対象事業ということでお送りさせてい たきます。
牛島委員長	この希望調査に○をつけて今日出して帰ってもらうということですが 、その説明のための資料 1-3ということで概要は入っておりますが、 ざっと説明していただいたほうが良いと思いますので、担当の方から説

	明をお願いできますか。
森課長	失礼します。今から資料の4ページから順次説明していきますが、78事業になりますと結構な時間になりますので、総合計画に基づいた基本目標ごとにご説明させていただきます。基本目標ごとの説明が終わったら質問という形でいきますのでよろしくお願いします。
事務局	< No.1 からNo.12 まで説明 >
牛島委員長	以上の説明を聞いて何か質問等ございますか。 6番と7番は関連のある事業ですから、どちらかに○をしたらいいということよろしいですか。
事務局	はい。それで結構です。
牛島委員長	40事業ということですので、半分くらい選んでいただくイメージをお願いします。それでは13番からの説明をお願いします。
事務局	< No.13 からNo.27 まで説明 >
牛島委員長	ありがとうございました。ご質問はありますか。
森副委員長	ちょっと質問です。合併特例債は国からどの程度の財政補填があるのか。交付税算入とか簡単に説明をお願いします。
森課長	森副委員長からのご質問の特例債の件ですが、初めて聞く方がおおいでるかもしれませんから分り難いかと思うのですが、簡単にご説明いたします。 実際に事業をする際に自己資金で事業を行えばいいのですが、やはり大きな公共事業、中長期的に市民の皆様が利用できるような施設とかにつきましては起債と言い、国からお金を借り入れて事業を行うことを一般的に起債といいます。その起債の中でも合併特例債といたしまして、三豊市も平成18年の1月1日に合併いたしましたので、先般までは合併後10年までの平成27年度末まで使えることになっております。例えば、1億円の事業を展開するとした場合には、国から9,500万円貸してあげますということで、その9,500万円を市が借り入れ借金をするわけなんですけど、そのうちの70%については、国の交付税措置がありまして、後から順次お返ししますという制度です。市にとっては非常に有利な起債でありまして、そういう起債を使って事業をするようなことができるのが、合併後の10年間で、合併特例債という事業となっております。

森副委員長	事業の95%のお金貸してくれて、その借りた分の70%を国から返還してくれるという解釈でいいのですね。
森課長	はい。
牛島委員長	よろしいですか。 他に何か質問はありますか。それでは次の説明をお願いします。
事務局	< No.28 からNo.29 まで説明 > 続いて < No.30 からNo.50 まで説明 >
牛島委員長	はい。ありがとうございました。今のところで質問等ございますか。
赤井委員	31番の永康病院運営事業とありますが、これは市立の病院なんですか。担当課が総務課とありますが。
事務局	はい。市立の病院です。担当課が総務課というのは事務局という意味です。
牛島委員長	他にないですか。
森副委員長	42番 高齢者福祉タクシー、一般財源無しということなんですが、これは先程のお話のように利用率が少ないから0になったということですか。
事務局	平成23年度につきましては、国の経済対策という交付金がございます、それが事業の対象になるということで充当させていただくことが出来ました。その為に一般財源が0ということになっておりますけれども、通常であればすべて一般財源で実施していく内容になります。
森副委員長	過去の敬老年金の代わりに事業で、タクシー券の支給に切り替えたもので、過去には現金で敬老祝い金を渡していたが、お金であれば100%の支出になるが、タクシー券であれば利用した分の支出で済むということでもいいですか。
事務局	金額的にはこの金額が支出されておりますけれども、実際はこの倍ぐらいの経費が係ると思われまます。
牛島委員長	他にどうですか。
酒井委員	生活保護関係ですけど、給付事業として評価しなくてもいいのか。
事務局	もちろん資料1-3には入っておりませんが、全事業の中には9ページの300番生活保護扶助費がそうだと思いますが、一昨年に評価されております。
酒井委員	一昨年に評価しているなら構いません。

赤井委員	事業の成果っていうところがありますが、これは事業の成果というよりも事業の内容のような気がします。
事務局	最終的にはその方が就労されるということに繋がるというのが最終的な成果になるのかなと思うのですけれども、まずはそういった方がハローワークに出向いて行って就労するための履歴書の書き方から始まって求人票を取得などを一緒にすることで、就労に向けての基礎がためのような。対象者につきましては13名の方が今そういった形で事業に乗っていただいております。
赤井委員	その13名の方の内、何名が実際に就労に繋がったのか。
牛島委員長	他にどうでしょうか。確認ですけど、50番の国民健康保険事業なんですけど、繰り出しについては一般の2億5,000万だという説明だったと思うのですが。基準外の分が2億5,000万なのか。基準外の額は。
事務局	基準外っていうのは基本的に三豊市の場合にはございません。下にもありますけれども国の繰り出し基準に沿った形の繰り出しを行っておりますので。
牛島委員長	他に何かないですか。それでは51番からお願いします。
事務局	< No.51 からNo.68 まで説明 >
牛島委員長	質問等ございますか。よろしいですか。それでは次いきます。
事務局	< No.51 からNo.68 まで説明 >
牛島委員長	はい。以上で説明は終わりましたが、よろしいでしょうか。全体通じて何かございますか。よろしいですかね。それでは説明のあったとおり、2枚の表に丸を付けていただくというのをやっていただきたいと思います。
森副委員長	今の全体の78事業以外で、委員の中で希望があればということだろうと思いますが、他の事業についての希望はどうしたらいいのですか。
牛島委員長	資料 1-3 以外でも一覧表がありますので、この中でどうしても聞いておきたい、聞いた方がというか、選択した方がいいなという事業があれば、入れていただくことは考えられます。今全部見ていただくのは無理があるので、後で連絡という形ですかね。
事務局	事務局の方へ連絡いただければ結構です。

牛島委員長	よろしいでしょうか。後で電話でもメールでも連絡していただいて。あまり多く言われるとちょっと大変ですけれども、幾つか追加した方がいいとなれば言うていただければと思います。
森副委員長	もう一点ですが、幼稚園、小・中学校の統合という話は前へ進んでいるのでしょうか、それとも何か検討委員会とかがあって動いているのか。どこも小規模学級になってしまっていますから、住民の理解がいりませんから、すぐに出来るものでないので、その辺の進捗というか動きを教えてください。
事務局	はい。私の方から簡単に説明させていただきます。平成22年度に適正規模適正配置検討委員会を設置いたしました。委員会から答申をいただきまして、市内に小学校が25校あります。中学校は組合立を除くと6校あります。幼稚園につきましては豊中町が既に1つになっておりますので20園あるんですが、概ね5年ごとの計画を立て、平成48年までには小学校は8校、幼稚園につきましてはこども園の問題がございますが、国のほうの動きも見ながらですね小学校と同じ数ぐらいにできればということで、教育委員会のほうでは昨年から詫間町、仁尾町、山本町、財田町において保護者に対する説明会、山本町、財田町については、一般住民に対する説明会も開催してきております。山本町、財田町では概ねのご賛同をいただきまして、今年度より地域協議会という次の段階に進んでいる状況でございます。山本町、財田町につきましては、平成28年の4月開校を目標にして、事業を進めていくということで、事務局と地元が一緒になって動いているというような状況でございます。
森副委員長	今投票所の統廃合、それから期日前投票所の統廃合はなく、まだ元の旧町に1箇所ずつ期日前投票所を設置しております。今は各支所の職員もほとんどが6名です。期日前投票が各支所ではなかなか困難な状況が出てくるような情報も入っております。それと投票所ですが、1投票所2,000人規模程度にしてはどうか、島しょ部のからみになりますから、何もかも一律にということではないんですけども、そこらあたりも評価対象に入れて欲しいと思います。 最後にもう1つ、終戦後67年となって慰霊祭を実施していると思います。地元で行って市で行って県で行って、もっと内容を充実させて三豊市なら三豊市で一本だけにするとか、これも評価対象に入れて欲しいと思います。
牛島委員長	はい。今3点ありましたけど事務局どうですか。
森課長	今、森副委員長からいただきました意見について、今の三豊市にはそのような事業がこれに限らず幾つかありますので、そのへんも私ども事

	<p>務局といたしましては、外部評価していただきたい事業でもありますので、内容については今回説明しておりませんが、今回説明した78事業に限らずご判断いただきたいと思います。また40事業を評価するという話ではありますが、多少の前後については事務局の方も当然考えておりますので、決して40事業で外部評価を進めていくということではありませんので、全体の事業を見ながら事業数を決定していきたいと思います。その辺は臨機応変に対応していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
牛島委員長	<p>その事業の番号を教えてください。</p>
事務局	<p>先ほどの3事業に関して、実際お手元の資料の中の何番の事業に該当するののかという話ですが、まず1点目、慰霊祭関係ですけれども、お手元の資料の9ページの303番、追悼式開催事業、これが三豊市全体で慰霊祭を行ってる事業でございます。23年の予算でいきますと80万余り、それから317番、遺族会補助事業、各地区で実施する慰霊祭の補助事業で事業費が420万余り、これが慰霊祭関係でございます。次に学校統廃合関係でございますが、9ページの下の方331番、子ども未来推進事業、この事業が小学校等の統廃合に関する事業でございますが、現在は事務費だけということですから、23年度で20万余りとなっております。それと最後に、選挙関係でございますが資料の事業一覧の最後、13ページの中盤に所属名称が選挙管理委員会というのが20項目ほどございます。これは国政選挙もありますし、過去3年間を見ますと国政選挙、それと県知事、県議、それと三豊市の市長、市議会議員選挙というかたちで、そこに512番から後10項目ほど521番まで選挙ごとの事業費がそこに実績として載っております。当然のことながら各選挙とも4年に1回とかが主流でございますが、そういうかたちで事業が分かれてございます。ただ当然、国、県関係の選挙ですと選挙事務費が国、県から降りてくるというのが基本でございますが、市長、市議につきましても当然市の持ち出しということになるかと思っておりますので、投開票に基づきます投票所の数並びに従事者の数を減少することが出来れば、当然全体の事業費も下がってこようかというようには思いますので、事業番号にしましてはその510番台が該当されるというように思われますので、それも含めてお考えいただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
牛島委員長	<p>その4つの事業ですけど、手書きで下に番号だけ振ってもらって○を書ける欄を作ってください。じゃあ303番と317と331と519と510ですね。希望の方は○を付けるということをお願いします。</p>

事務局	一応、選挙に関しては項目が多いので519と520の市長選挙、市議会議員選挙の2項目でお願いします。
牛島委員長	今追加した番号は、他の78事業と同じ扱いでお願いします。もう終わられましたか。それではこの時点で回収してください。皆さんの希望結果を集計した上で40事業を決定してから評価に入ることになります。
	それでは次に(2)評価日程の調整について事務局から説明して下さい。
事務局	< 事務局より(2)評価日程について説明 >
牛島委員長	私の都合では7月の5、6、9あたりは大丈夫かなと思いますので、1日10事業程度、少し多めに時間をとってやれば12、3事業は可能かと。なるべく1日で沢山やって、3日で終わるようにすればどうかかなと思いますけど。
事務局	< 委員による日程調整 >
事務局	今、委員長の都合では7月中に3回程度開催日をとって、全ての事業について評価をする。その後事務局の方で集約をしてから8月に入って1回、こういう報告書になりましたということで、8月に1回開催してはかがかいうことです。
森課長	皆さんそれぞれお仕事を持っておられるので、お仕事の都合などで欠席される方も当然おいでます。7名全員の日程調整ができれば一番ベストだと思うんですけどなかなか難しいです。皆さんそれぞれ都合があると思いますので、仕事上やむを得ない場合は、皆さんの日程の都合のつく範囲でご出席くださればと思います。
森副委員長	開催日については、 第2回 7月 6日(金)13:30～ 第3回 7月 9日(月)13:30～ 第4回 7月11日(水)9:00～ 第5回 7月27日(金)13:30～ よろしくをお願いします。
牛島委員長	(3)その他ということで、事務局から何かあればお願いします。
事務局	その他として、4点ほどお知らせしておきます。 今後の予定につきましては、評価事業の選定結果と日程、また会場等

	<p>の調整を行い、皆様にお知らせさせていただきます。</p> <p>それと会議の資料でございますが、できるだけ早く皆様にお届けできるといいのですが、そのあたりご了承いただきたいと思います。</p> <p>それと、本会の会議の公開についてということですが、別添のA4の2枚の資料を配布しておりますが、三豊市では三豊市附属機関の会議の公開に関する指針というのを策定しています。本会のような条例に基づいて設置された委員会、審議会などについては会議を公開することになっております。その指針によって次回より会議の方を公開させていただきたいと思っております。また併せて会議資料、会議録等についても公表することとなっておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それと大きいファイルをお配りしておりますが、参考資料といたしまして、新総合計画、それと第4期実施計画、それと広報みとよ4月号、5月号、市政方針等が載っております。それと「三豊の身の丈」ということで毎年データブックのほう作っておりますが、その冊子の方を配布させていただいております。2回目からの評価作業の参考になればと思い、お配りさせていただいております。</p> <p>最後に案内状と一緒に委員就任承諾書、債権者登録書等の提出をお願いしておりましたので、この後、会議が終わりましたら提出してからお帰りください。私の方からは以上です。</p>
牛島委員長	<p>それでは、委員の皆様から特にご意見等ございませんでしょうか。よろしいですか。なければ本日の会議は以上といたしますが、何か課長からございますか。</p>
森課長	<p>閉会にあたりまして本来でしたら政策部長の小野よりご挨拶すべきなのですが、冒頭にも申しましたように県庁の方へ公務で出かけておりますので、私の方から一言お礼を申し上げます。</p> <p>次回7月6日から評価が始まる訳ですが、今度は直接担当しております原課のほうから詳しく説明をいたしますので、その説明に基づきまして評価をしていただけたらと思います。本日はお忙しいところ誠に有難うございました。今後ともよろしく願いいたします。</p>
牛島委員長	<p>有難うございました。以上で閉会とさせていただきます。それでは皆さんお疲れ様でした。</p>
8.閉会	午後4時3分